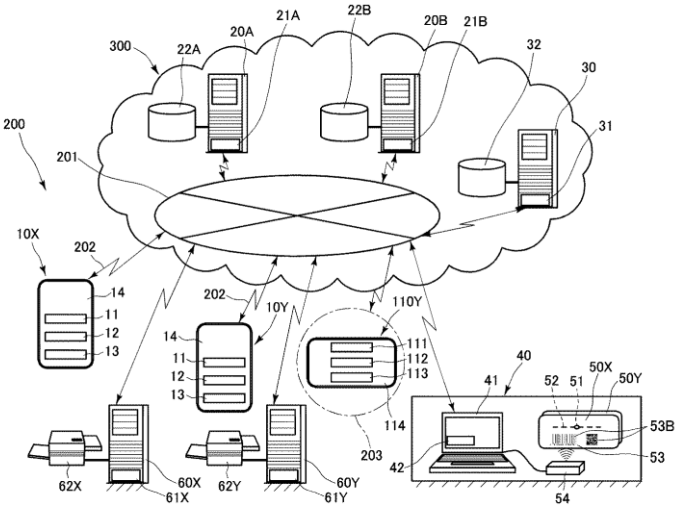


発明の名称	データリカバリシステム、データリカバリ方法、データリカバリプログラム、情報処理装置、データ作成型の携帯端末及びパッシブタイプの記憶媒体		
出願人/権利人	株式会社ソフトベース、クラウドネット株式会社、川端康弘	発明者	川端 晃久、島崎 恒宏
出願日	平成28年5月9日	出願番号	2016-093987
公開番号	2017-199331	特許番号	5999614
法的状態	登録中		

代表図



- 10X, 10Y スマートフォン(携帯端末)
- 11 制御部
- 12 メモリ
- 13 バッテリ
- 14 表示部
- 20A, 20B アプリケーションサーバ
- 21A, 21B 制御部
- 22A, 22B アプリケーションファイル
- 30 メインサーバ(データベースサーバ)
- 31 制御部
- 32 データベース
- 40 カスタマセンタ
- 41 通信制御用コンピュータ(情報処理装置)
- 42 制御部(情報処理装置)
- 50X, 50Y RFID用ICカード(記憶媒体)
- 51 ICチップ(記憶部)
- 52 アンテナ(通信部)
- 53 アプリケーションユーザ番号表示部
- 53B バーコード表示部
- 54 RFIDリーダー/ライタ
- 60X, 60Y プリントサーバ
- 61X, 61Y 制御部
- 62X, 62Y プリンタ
- 110Y タブレット端末(携帯端末)

- 111 制御部
- 112 メモリ
- 113 バッテリ
- 114 表示部
- 200 移動体通信網
- 201 インターネット(コンピュータネットワーク)
- 202 携帯電話回線(無線通信網)
- 203 無線LAN(無線通信網)
- 300 クラウド(クラウドコンピューティング)

発明の概要

データベースのデータの外部流出を防ぎ、データを復元可能とするデータリカバリシステム

特徴

本発明は、携帯端末で作成されデータベースに保存された、大量かつ多様なデータが外部流出する危険性を回避するとともに、非常事態に遭遇して一旦失われかけた大量かつ多様なデータを復元可能とすることのできるデータリカバリシステム、データリカバリ方法、データリカバリプログラム及び情報処理装置と、そのような情報処理装置に用いられるデータ作成型の携帯端末及びパッシブタイプの記憶媒体である。

例えば、非常事態の解消時、データベースに保存された旧端末機器に関するデータを新端末機器へ復元することが可能である。

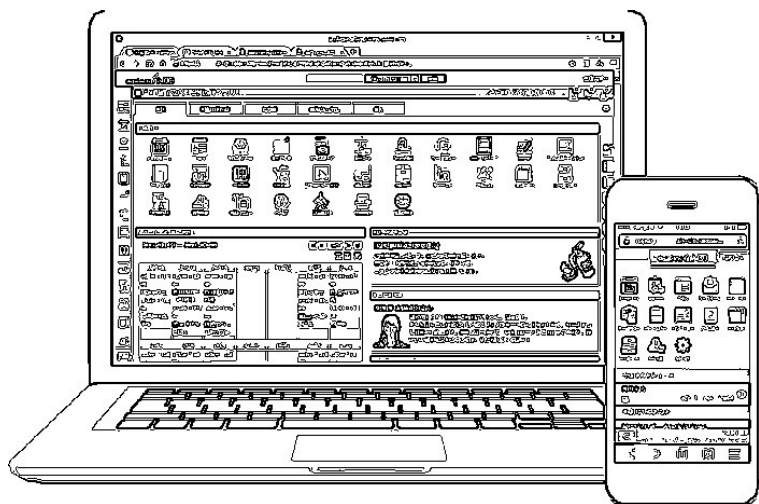
応用の可能性



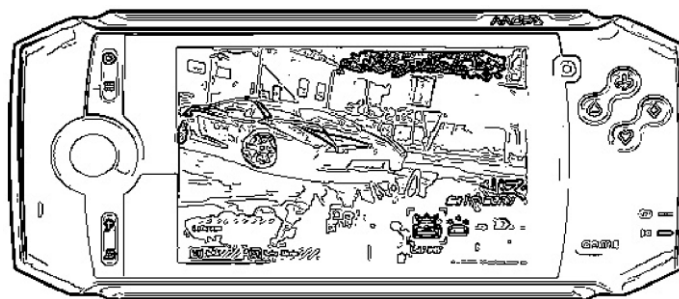
電子決済アプリ



SNSアプリ



グループウェア等の業務系アプリ



ゲームアプリ

など

応用の可能性

- ・SNSアプリ
 - ・電子決済アプリ
 - ・グループウェア等の業務系アプリ
 - ・ゲームアプリ
- など

本技術の活用が見込める企業の一例

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ・株式会社エヌ・ティ・ティ・データ | ・カゴヤ・ジャパン株式会社 |
| ・富士通株式会社 | ・KDDI株式会社 |
| ・日本電気株式会社 | ・関電システムソリューションズ株式会社 |
| ・株式会社オーグス総研 | ・株式会社ケイ・オプティコム |
| ・株式会社IDCフロンティア | など |

株式会社ソフトベースおよびクラウドネット株式会社の本発明に関する最新動向

- ・クラウドネット株式会社のホームページにおいて特許を取得した旨のニュースリリースが掲載されている。
(<http://cloudnet.strikingly.com/blog/974d92a9f83>)
自社で本発明技術を実装して提供予定とのこと。